

| | | | | | | | |
|--|--|------|--|--|----------|------|------|
| 科目名 | 国語Ⅲ JapaneseⅢ | | | 担当教員 | 長谷川 隆 | | |
| 学 年 | 3年 | 学 期 | 通年 | 履修条件 | 必修 | 単位数 | 2 |
| 分 野 | 一般 | 授業形式 | 講義 | 科目番号 | 12120024 | 単位区分 | 履修単位 |
| 学習目標 | 1. 現代文や古典の読解を通して、他人の物の見方や考え方を知る。 2. 正しい日本語で表現するための基礎を身につける。 | | | | | | |
| 進め方 | 講義形式を基本とする。予習・復習に努めてほしい。また、意見を書いたり発表したりしてもらうことがある。原則として週に1回漢字小テストを実施する。 | | | | | | |
| 学習内容 | 学習項目(時間数) | | | 学習到達目標 | | | |
| | ※全体ガイダンス(1) 1. 評論(13) (1) 聴くということ(鷲田清一) (2) 南の貧困/北の貧困(見田宗介) (3) ある〈共生〉の経験から(石原吉郎) | | | ・聴くことの意義を理解する。(聴くということ) ・南の貧困と北の貧困の違いの原因を理解することができる。(南の貧困/北の貧困) ・生きるための共生があることを理解する。(ある〈共生〉の経験から) 学習・教育目標:(A) | | | |
| | [前期中間試験](2) | | | | | | |
| | ※試験解説(1) 2. 表現(13) (1) 国語表現の実践 ア. 文体を統一 イ. 事実を客観的に ウ. 比喩 エ. 推敲 オ. 段落分け カ. 論旨をまとめる キ. 議論文 | | | ・正しい日本語で表現するための基礎的事項を理解する。 学習・教育目標:(D) | | | |
| | 前期末試験 | | | | | | |
| | ※試験解説(1) 3. 小説(13) (1) こころ(夏目漱石) | | | ・先生とKの行動を自分なりに納得できる。また、主題について多様な解釈が可能なことを理解する。(こころ) 学習・教育目標:(A) | | | |
| | [後期中間試験](2) | | | | | | |
| ※試験解説(1) 4. 古文(13) (1) 安養の尼の小袖(十訓抄) (2) 万葉の歌、王朝の歌 | | | ・内容を理解できる。(安養の尼の小袖) ・和歌の修辞・リズム・内容を理解する。(万葉の歌、王朝の歌) 学習・教育目標:(A) | | | | |
| 後期末試験 | | | | | | | |
| 試験返却(1) | | | | | | | |
| 評価方法 | 1. 評価の内訳:漢字小テストの成績を10%、演習問題・読書ノート・夏休み課題文等の提出物を15%、定期試験を75%とする。 2. 学習項目ごとの全体評価への重みは、1~4のそれぞれについて、各25%とする。 | | | | | | |
| 履修要件 | 特になし | | | | | | |
| 関連科目 | 国語Ⅰ(1年)→国語Ⅱ(2年)→国語Ⅲ(3年)→文学特論Ⅰ(4年) →古典文学(専攻科2年) | | | | | | |
| 教 材 | 教科書:高等学校現代文改訂版 三省堂 柴田武他編 問題集:高等学校現代文[改訂版]課題ノート 三省堂 高等学校現代文編集委員会 教科書:新編古典 筑摩書房 鈴木日出男他編 漢 字:級別漢字学習4級~2級 東京法令出版 赤羽靖他 表 現:基礎からの国語表現の実践 京都書房 樺島忠夫・佐竹秀雄共著 辞 書:電子辞書等(国語辞典 古語辞典 漢和辞典) | | | | | | |
| 備 考 | ○オフィス・アワー 原則として毎週月曜日放課後 ※ 質問等があれば気軽に教員室まで | | | | | | |